

受付

3.4.1

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	姫路医療生協	介護保険 代表者	荻野俊夫	法人・事業所の 特徴	「住み慣れた地域でその人らしく過ごすことができるよう医療と介護の両面をサポートします」をモットーに「通い」「訪問」「泊り」「訪問看護」を柔軟に組み合わせ医療的なケアが必要な方にも主治医と連携し在宅生活を安心して過ごせるよう支援していきます。
事業所名	看護小規模多機能 すずかぜ	管理者	長谷川徹		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	2人	1人	人	人	1人	2人	2人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認				
B. 事業所のしつらえ・環境	自事業所で判断出来る事は検討し実施する。判断できない事は今回の意見を報告し、判断を仰ぐ	地域住民に知って頂くための回覧や新聞は2回ではあるが行う事が出来た。来客用の駐車場は確保出来ていない。	来客用の駐車場の確保は必要であり、分かりやすいように表示をした方が良い。	見学・相談の来客者が分かりやすいように駐車場の確保と「来客用」と表示を行う。
C. 事業所と地域のかかわり	2月・6月・12月に地域の掃除があるので参加出来るように勤務調整を行う。	コロナ禍の為、中止となり実施されていない。	コロナ禍の為、実施参加は難しい状況である。	コロナ禍の状況を見ながら地域との関りを持てるように情報収集と勤務調整を行っていく
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み				
E. 運営推進会議を活かした取組み	家族参加月を決める等、今回頂いた意見を反映できる仕組みの検討を行う。	コロナ禍の為、運営推進会議に家族参加の案内は出しておらず。	コロナ禍の状況を見ながら今後判断していけば良いのではないかな。	家族参加月を決めて運営推進会議を家族の意見を反映する月と地域住民の困りごとが話し合える月に分けて開催する。
F. 事業所の防災・災害対策	水・食料の備蓄品を検討（人数・種類等）し、確保しておく。電源に関しては情報収集し、法人として検討・指示を仰ぐ。	備蓄品の購入に関して了承して頂けたが、購入に至っていない。電源は市や電力会社に問い合わせ法人で準備する事確認した。	停電時の電源の確保は早急に検討、方針を固めた方が良いのでは	法人に問題提起し、早急に方針を確認、手配する。